

令和2年4月15日

杉並区長
田中良様

杉並区議会公明党
幹事長 渡辺 富士雄

新型コロナウイルス感染症対策に係る区内医療資源についての緊急要望

新型コロナウイルス感染症については、4月15日現在で区内感染者数が累計125名にまで拡大し、とりわけこの1週間で倍増しています。地域医療の崩壊を防ぎ、区民の生命と健康を守るため、万全の体制を敷くよう、以下の点について緊急対応を要望いたします。

記

1. 「(仮称)発熱外来センター」へ対応する医療資源の十分な確保

発熱外来を受診する相談者が今後も増加することを見込んで、物的及び人的資源を確保するとともに、医療従事者への支援体制の充実に引き続き努めるよう、改めて要望いたします。

2. 陽性反応が出た軽症・無症状者の待機体制の構築

発熱外来を受診し、「陽性」反応が出た軽症者・無症状者については、自宅待機を中心とした措置が取られることとなりますが、居住形態(住まいの構造や家族構成等)によっては、自宅待機が困難な事例も発生する可能性があります。そうした事態への対応について、東京都と綿密な協議の上、区としての支援体制を構築するよう要望いたします。

3. 「パルスオキシメーター」の購入と貸出体制の構築

自宅待機等となった軽症者・無症状者が重症化する兆候をいち早く察知するため、「パルスオキシメーター」を該当者に貸与し、動脈血酸素飽和度の変化に応じて迅速に入院等につなげられる体制を構築するよう要望いたします。そのための十分な機器の台数の確保も要望いたします。

4. 「オンライン診療」の推進と支援

オンライン診療導入の推進と支援を要望します。

以上